

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」重点課題と目標、評価・分析

課題	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	前年度の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	
学校支援ボランティアの確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・広くボランティア募集を行い、新規委員を発掘するとともに、充て職で在籍している任期付き委員の継続在籍を促す。（令和5年度委員数：607人） ・協定やプラットフォーム等を活用し、学生ボランティアの登録を促す。 	退会する委員と同等の新規委員を継続的に確保する。 また、地域に住む学生ボランティアを各地区に紹介・斡旋することで、学生の間はボランティアとして、将来は地域に帰り活動を中心的に行えるよう、土壌を作る。	新規人数/退会人数 ※いずれも充て職除く ※100%を維持することを目標とする	105	%	100	93	112(新規人数)/120(退会人数)=0.933...≒93% ・新規委員を確保するため、スタッフ募集のチラシ等配布した地区もあったが、思うように人数が集まらなかった。委員の負担感を改善し、持続可能にしていく必要がある。 ・近隣の大学に、ボランティア募集について説明に出向いたが、問い合わせはほぼなく、あまり効果は見られなかった。 ・一方で、近隣高校については、うまく連携が取れ、協力人数も多かった。今後は高校との連携をより深めていく。
放課後等における多様な体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の新規開設（令和4年度実施数：継続4か所+新規2ヶ所 ※いずれも放課後児童クラブとの一体型） ・学生ボランティアを積極的に活用し、活動への参画のみに留まらず、企画・運営にも参画を促す。 	放課後子供教室実施数（放課後児童クラブとの一体型）を拡大し、活動プログラムの充実を図ることで、子どもたちに多様な体験や活動を提供し、その活動を通じた地域住民等との交流を増やす。	放課後子供教室開設数	6	ヶ所	11	11	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域住民等に開設の働きかけ、放課後子供教室実施数が増え、前年度より約1.8倍になった。（新規開設5校：大塚小、古谷小、高階北小、大東西小、霞ヶ関南小） ・放課後子供教室実施数増により、多様な体験や活動の提供する場が増え、地域住民等との交流機会の提供につながった。 ・スタッフは主に高齢者で、継続性に課題があるので、近隣の高校等に呼びかけすることで、学生ボランティア等の確保に努めていく。